



育てるつもりで育てられ

会員 小川 貴裕 (63期)

会社員～受験生～修習生時代にか
なり育児を担当しましたので、経験
から学んだ点をいくつか書いてみます。

個性の違いは大きい

私の娘は、赤ん坊のころからすぐに
泣きやむ諦めの良い子でした。今でも、
特段嫉けたわけでもありませんが、外

では大人しくする内弁慶タイプです。プールやお風呂で
顔に水が掛ると激しく泣き続ける子がいますが、全く逆
です。また、自分の子供時代はというと、娘同様に泣
かなかったようですが、男二人年子の兄弟で、要らん
ことをしたり兄弟げんかをしたり毎日叱られ通しでした。

粗い推測ですが、感情の激しさ、好奇心の強さ、羞
恥心、リスク感受性などは、しつけ以前に、かなりの
部分持って生まれた性質のように思われます。

それを実感してから、公共の場で騒いでいる子を見て
も、「エネルギーが凄く強い子で大変だなあ」と思えるように
なりました。もっとも、その場の親が毅然とせず、周囲
に無頓着だと眉をひそめてしまいがちですが。

親の苦労を実感する

子供は3歳くらいになるまで、何もかもやってあげな
いといけません。娘は相当楽な方だったのですが、それ
でもかなり大変でした。

子育てをして初めて、親に迷惑を掛けていた（それも
娘の5倍くらいは！）ことを思い出し、親に苦労をかけた
ことを済まなく、また、感謝する気持ちが生まれました。

そんなわけで、実家の風呂を、最近の浅くて安全なもの
に交換してあげたいのですが、なかなか…。

子供をもって〇人前？

今やほとんど使わないフレーズですが…。

幼い子供があると、生活は子供中心になります。突
然の発熱で会社から呼び出され、インフルエンザの治癒
証明が出るまで登園禁止といわれると、毎日どちらかは



休まねばなりません。共働きで保
育園に通わせていると、流行の病気は
一通り、必ずもらってきます。

責任持って仕事をしたいと思っ
ても、どうしても周りに迷惑を掛けてし
まいます。

子供を持った経験のある人は、「お
互い様だから」と言ってくれますが、

そうでない人の目が笑ってないような…（被害妄想です
みません）そんなとき、両者の断絶と、上のフレーズが
頭に浮かびます。

子育てが義務ではなく個人の趣味になった現代、子育て
をする夫婦は、不可避免的に、義務のない周囲に一方的に
迷惑を掛け、頭を下げて尻ぬぐいをしてもらって、それ
に感謝して、なんとかやっていくことになります。そして
それは、自分が子供だったときにもそうだったはずで

人間、周囲に迷惑を掛け、いろんな制度を利用し、
周囲と社会に支えられて生きて行かざるを得ないことを
実感します。ホントすみません。

半分やっても2～3割

最後はイクメンへの注意点です。

私は、諸般の事情から、力仕事だけでなく、保育園
の送迎や各種通院、料理、洗濯等もかなりの部分担当し、
半分以上の労力は使っていた…と感じていました。

ある時、負担についての不平を申し述べたところ、妻
から「半分子供の面倒をみるということは、時間や手間
だけではなく、半分責任を持つことだ」と、いなされま
した。

たしかに、例えば予防接種スケジュールは任せきりで
したし、外出時もしばしば娘から目を離していました。
家庭内でも、発熱や喉つまり等、娘の変調に気づくのは
いつも妻でした。

夫が育児労働の半분을分担しているつもりでも、責任
と緊張感も分担しなければ、妻から見れば2～3割程度
だと言うことです。残念ながら。